

文京区補助金等チェックシート

所属 福祉部高齢福祉課

1 補助金の名称等

26年度調査

補助金の名称	文京区高齢者クラブ連合会助成							
根拠規定等	文京区高齢者クラブ連合会助成要綱							
創設年月	平成	13	年	4	月	経過年数 〔自動計算〕	13年	終了予定年月
直近の見直し年月			年		月	経過年数 〔自動計算〕		
見直しの内容								
予算科目	款	項	目	大事業	中事業	実施計画事業番号		
	5 民生費	2 老人福祉費	1 老人福祉事業費	1 高齢者クラブ運営費	1 運営補助			
補助金の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 奨励的補助 <input type="checkbox"/> 施設運営補助 <input type="checkbox"/> 扶助的補助 <input type="checkbox"/> 投資的補助 <input type="checkbox"/> 利子補給							

2 補助金の概要

補助目的	文京区の区域内に所在を有する高齢者クラブ連合会に対して、その運営を助成し、もって高齢者の福祉の増進に資することを目的とする。						
補助事業等の内容	社会奉仕活動、友愛活動、生きがいを高める活動、健康を進める活動、会員の加入を促進する活動等。						
補助対象経費の内容	高齢者クラブ連合会の運営に要する経費のうち、総会費、交通費、分担金、事務費、材料費、印刷費、講師謝礼、会場使用料等補助事業の実施に要する経費。但し交際費(慶弔費を含む。)酒類その他奢侈にわたる飲食費等高齢者クラブ連合会の活動に要する経費として不適当であると認める経費は対象としない。						
補助事業者等	<input type="checkbox"/> 区民 <input type="checkbox"/> 地域活動団体 <input checked="" type="checkbox"/> NPO(特定非営利活動団体) <input type="checkbox"/> 事業者 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	〔特定の相手方に補助している場合は具体的に記入〕 文京区高齢者クラブ連合会						
補助金の算出	<input type="checkbox"/> 定率 (補助率) <input type="checkbox"/> 定額 (補助額)						
	<input type="checkbox"/> 補助単価 (補助単価 単位) <input checked="" type="checkbox"/> 規定なし <input type="checkbox"/> その他						
	〔その他の場合は具体的に記入〕						
公募の状況	非公募						
実績報告書時における用途の確認方法	<input type="checkbox"/> 領収書(写し) <input type="checkbox"/> 契約書 <input checked="" type="checkbox"/> 決算書 <input type="checkbox"/> 成果物 <input type="checkbox"/> その他 ()						
補助・単独の状況	<input type="checkbox"/> 区単独 <input type="checkbox"/> 補助(区上乗せ無し) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(区上乗せ有り)	負担割合	区 1/3	国 1/3	都 1/3	補助対象者	
	上乗せの内容・理由	連合会数、連合会加入高齢者クラブの会員数に基づく都基準額に対し、区が活動の実態に応じて独自の基準を設けているため。					

3 補助金の交付の適否に関する基準〔A:適合している、B:適合していない、C非該当〕

項目	内 容	判定	判定の理由
必要性 (公益性)	補助事業等が、社会情勢や区民ニーズに適合しているか	A	高齢者クラブの支援は、高齢者・介護保険事業計画に基づくものであり、その連合会の支援は社会情勢や区民ニーズに適合している。
	基本構想、実施計画、個別計画等の区の政策に適合しているか	A	高齢者・介護保険事業計画に基づく、高齢者の交流に資する事業である。
	区と区民等の役割分担の中で、区が補助すべき事業であるか	A	高齢者の福祉の増進に資するため、文京区の区域内に所在を有する高齢者クラブ連合会(以下、文高連)の運営を助成することは区の役割である。
	実施しなかった場合に大きなマイナスの影響が生じるか	A	文高連の各種事業の安定した運営が困難となり、区内高齢者の自主的かつ組織的な活動に大きなマイナスを与える。
公平性	補助要件に該当する補助事業者等であれば、誰でも補助金の申請をする機会が確保されているか	C	
	交付先は適正な手続きによって決定されているか	C	
効率性 (有効性)	補助金の交付以外の代替策はないか	A	運営に対する補助であり、代替策はない。
	補助金の交付による効果が認められるか	A	助成により文高連の安定した活動が継続されている。
	補助金額に見合う具体的効果が認められるか	A	文高連が機能することで、区内64クラブが有機的に繋がりが様々な行事を行っています。また、他の自治体や都の高齢者クラブ連合会との連携がとれている。
	事業実施の効果が広く区民に還元されているか	A	文高連は区の高齢者施策へ協力するだけでなく、様々な協議会等の委員もつとめ、区内高齢者の声を区政に届けることでも区民の福祉向上に努めている。
適正性 (適格性) (妥当性) ※個人等の補助金については不要	法令等に抵触していないか	A	適正な内容であり、法令等への抵触はない。
	団体等の活動内容が補助目的と合致しているか	A	事業内容は補助目的と合致している。
	団体等の会計処理や補助金の使途が適正か	A	適切な会計処理であること、適正な使途であることを確認している。

4 交付実績

(件、千円)

項目	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)
交付(見込み)件数	1	1	1	1
決算(予算)額	1,240	1,240	1,240	1,240
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	590	586	579	576
その他	0	0	0	0
一般財源	650	654	661	664
26年度補助事業等の状況 (交付団体名、成果等)	<p>・文高連広報・だよりの発行、教養講演会や交通安全教室、友愛活動やペタンク・輪投げ大会等幅広く事業を実施し、高齢者福祉の増進に寄与することができたと考えられる。</p> <p>・全国老人クラブ連合会・東京都老人クラブ連合会・社会福祉協議会や跡見学園女子大学等外部団体とも積極的に交流を図り、地域福祉に貢献した。</p>			

5 課題及び今後の方向性

引続き要綱に則り、適正な補助金の交付を行う。